



【感染症だより】

～ロタウイルス胃腸炎など～

4月は感染性胃腸炎がとても流行しました。5月に入ってもまだ続いています。嘔吐、下痢、発熱、食欲低下、腹痛などがみられます。感染性胃腸炎の原因には様々なウイルスがあります。ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス、サポウイルスなどがありますが、迅速検査で調べることが出来るのは、ノロ、ロタ、アデノだけです。都内で4月特に流行したのがロタウイルスです。ロタウイルスは、乳幼児の急性重症胃腸炎の主な原因ウイルスで、5歳までにほぼすべての子どもが感染すると言われています。例年、3月から5月に流行しますが、今年は例年より多い流行状況となっています。水様下痢、嘔吐、発熱、腹痛などで脱水（ぐったりして水分摂取できなくなる）を起こし、入院治療が必要になる場合もあります。また、頻度は少ないですが合併症として、けいれん、肝機能異常、急性腎不全、脳症、心筋炎を起こすことがあり、命にかかわる場合があります。特に乳幼児では脱水を起こしやすいですので、水様下痢などの症状がみられたら、経口補水液などを頻繁に飲ませ、悪化しないよう注意しましょう。予防には、こまめに手洗いをし、おう吐物や便を処理するときは使い捨て手袋、マスク、エプロンを使用し、次亜塩素酸（塩素系の漂白剤）で処理しましょう。

ロタウイルスの予防接種は任意接種で受けることが可能ですが、適応月齢が生後6週間から生後7ヵ月までと限られているため、年長児は受けることが出来ません。

文責： 清水マリ子

表：4月しみず小児科・内科クリニックで診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	胃腸炎	54
2	おたふくかぜ	6
3	溶連菌	5
3	インフルエンザA	5
3	インフルエンザB	5
6	肺炎	3
6	水痘	3
8	突発性発疹	2
8	アデノウイルス	2

★病児保育室あんずからのお知らせ★

平成29年4月から保育室の利用枠が4から6名へ拡大しました。新年度ご利用の際は、申込用紙のほかに、登録書が必要となります。お手数ですが、昨年度ご利用いただいた方もご記入をお願い致します。ご利用当日来室時でも大丈夫です。



しみず小児科・内科クリニック